

文部科学省もビックリか？
1学期出席率
【1年生全体】



**2学期も
 頑張ります!**

99.9%

充実の三高生活を支える高い出席率

1年生2クラスは100%達成

**3年生も→99.2パーセント
 2年生も→99.4パーセント**

1学期末試験までの統計



この元気を2学期も!
 学園祭もご期待ください



チーム三高の熱気!



涼

夏期補習後の8月第一週は夏期集中学習会(3年)

夏に鍛え、道を拓く2学期へ

「あの時、何でもう少し頑張れなかったのか」と後悔したく
 なかった by 有森裕子(五輪女子マラソン2大会連続4リスト)



MITOYA

島根 **三刀屋**
 県立 高校

蒼雲

学校だより
 第98号

【発行所】
 三刀屋高等学校
 〒690-2404
 雲南市三刀屋町
 三刀屋912-2
 TEL: 0854-45-2721
 FAX: 0854-45-5630

【印刷所】
 有限会社木次印刷
 〒699-1312
 雲南市木次町山方
 630-5
 TEL: 0854-42-8133
 FAX: 0854-42-8155

エアコン完備の大講義室で



つながろう三高
 つながろう雲南

如己愛人

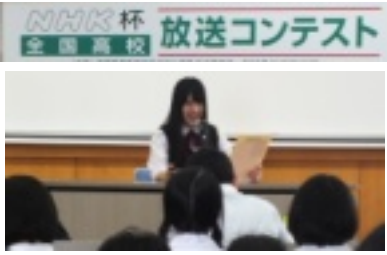
実現したい夏の夜の夢

春に全通した尾道松江線中国や
 まなみ街道を利用し、よさこい祭
 りに沸く夏の高知を訪れた。今や
 全国区の人気の「よさこい踊り」
 だが、その歴史は意外と新しい。太平洋
 戦争後の町に活気をもたらしたいと、高
 知商工会議所の若者が徳島の阿波踊りを
 ヒントに考えたという▼正調と呼ばれる
 曲(よさこい鳴子踊り)の振り付けはあつ
 たが、よさこい祭のルールは「鳴子を持つ
 て前に進む」「曲のどきかに正調のフレ
 ズを入れる」など比較的単純かつ自由な
 もので、様々なバリエーションが生まれ
 た。どんな伝統にも始まりがあり、よさ
 こい祭りは新しき伝統の一つのお手本と
 言えるかもしれない▼雲南圏域で意外と
 新しいのが、平成21年にデビューした奥
 出雲神代神楽。それまで出雲神話のふる
 さと奥出雲町に神楽社ではなかった。新
 たなスタートで、ここにも新しき伝統が
 育つて欲しい▼「よさこい踊り」はその
 後、北海道のソーラン節とコラボして1
 992年に「YOSAKOIソーラン」
 も派生して人気を博し、島根県内を含め
 全国各地のイベントや祭りに取り入れら
 れていった。伝統文化や祭りにも、時と
 して変化を伴う進化が求められる。それ
 が伝統を育むということではないだろう
 か▼祭り好きには雲南市の伝統ある出雲
 神楽も楽しみの一つ。今後もし受け継
 がれて欲しいが、永井隆博士の縁を通じ
 てつながる長崎の「くんち」をヒントに、
 私はジャバラの八頭立て大蛇が勇壮に宙
 を舞う夏の夜の夢を描いている▼時にそ
 んな遊び心も大切に、「地域産業研究」
 「課題研究」に取り組む三高生も、各方
 面で新鮮かつ具体的な提言を発表し、そ
 の中に一つでも多く実現できる夢があれ
 ばと願う。若者の声に耳を傾ける雲南だ
 からできるはずだ。

明日の文化祭初日(会場アスパル)の特別ゲスト: 市内よさこいチーム「TEAM 輪音天咲」出演 13:10~13:40

(編集長記)

夏の全国大会(本校出場分)



7月28日~8月1日

夏の陣

書道

全国高校総合文化祭(滋賀大会)

滋賀県発祥の「筆伝」で交流

昨秋の県高校書道展の結果を受けて、妹尾有真さん(2年)が県代表3名の一人として高総文祭に参加した。コンクールでは残念ながら入賞はならなかったが、生徒交流会では2年生男子として唯一班長に指名され、滋賀県を発祥とする「筆伝」に挑戦。妹尾さんのリーダーシップで大盛り上がり、32

班「琵琶湖のオオナマズ」の面々は、大筆で『嵐』の一字を一画ずつ交代で書き上げた。

引率の先生は、「女子生徒ばかりの中の男子班長で、最初はとまどっていました。高こここにあり」の活躍だったようだ。

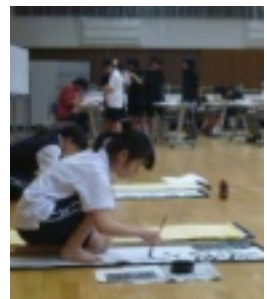


筆伝作品「嵐」を前に記念撮影

追伸

その後の書道部 県高文連講習会にも参加

8/4



今年春のコンクールと切り離して、夏休み中に東西2会場で開催された。出雲市駅前のバルメイト出雲の東部会場には5校約30名の書道部仲間が参加し、本校も1、2年生4名が参加した。

追伸

国体中国ブロック予選へ

その後のソフトボール部

国体少年男子・して男子2名、女子8名が出場した。ブロック予選に県選抜チームの一員と

(8/22~23、米子市)



女子ソフトボール 8/4、滋賀県守山市

<2回戦>

TEAM	1	2	3	4	5	6	7	計
笠田(和歌山)	3	1	0	1	0	2		7
三刀屋(島根)	0	0	0	0	0	0		0

規定により6回コールド

あと1本つながらず



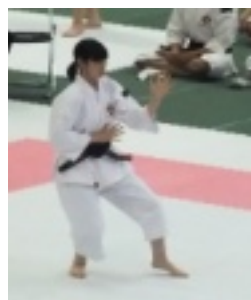
三刀屋の5回裏の攻撃は相手エラー、プッシュバントがセンター前ヒットとなるラッキーな展開でワンアウト2、3塁と攻め立てたが、あと1本つながらず追い上げはならなかった。



県ソフトボール協会会長が臨席しての激励会

少林寺拳法

7/31、兵庫県姫路市



先生は「練習以上気合の声が出ている。大会ごとに目に見えて上達している」と健闘を称えた。

昨年度からインターハイ競技となった少林寺拳法に、門脇有紀菜さん(2年)が島根県勢として初めて松江南高の生徒とともに「女子単独演武」に出場した。全国の壁は厚く予選突破はならなかったが、道場の

放送

NHK杯全国高校放送コンテスト

アナウンス部門に藤原さん(3年)出場

7月21日から東京のNHK放送センターに隣接するオリンピックセンターで開催された標記コンテストに、

藤原香玲羅さん(3年)が県代表の一人としてアナウンス部門に出場を果たした。同部門だけで約300名が

エントリーし、50名ずつの各グループから上位10名が準決勝に進出する予選を突破することはできなかったが、本番でも緊張することなく、本人も顧問も「これまでで一番の発表だった」と振り返った。

中国大会

水泳 7/24、広島市

中国高校水泳選手権大会



力泳する吉川さん(1年、写真左)

- 男子百m平泳ぎ予選2組
吉川航輝 1分11秒20
6位 予選敗退
- 男子二百m平泳ぎ予選4組
吉川航輝 2分34秒17
9位 予選敗退



地域でつなぐキャリア教育モデル事業

「自分を作る楽校」

第1回 7月25日(土)
@雲南市役所

大東高校では6月に1、2年生全員が参加しての「楽校」をすでに開催。三刀屋高校生を対象とした「楽校」はこの日が初回となりました。今後、月一回土曜日に開催されます。

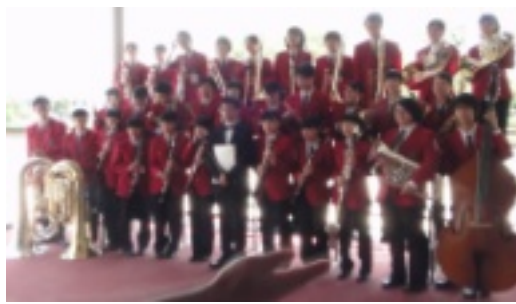
雲南の中高生のために、毎月東京から駆けつけてくれる「アラレ」の皆さんとは？

自分たちの生き様や価値観を互いに自由に発信し合える場を作ろうと、3年前に誕生した団体。毎月、全国各地の数十名の若手社会人が集まって学び合いの場を設け、現在の主な活動は、「若手社会人による中学・高校生への出張授業」「同世代による授業形式のシェアの場作り」!

様々な職種の若手社会人が自らの経験を語りつつ、ワークショップ形式で生徒の思いを引き出してくれます。
<テーマ>「将来には多様な選択肢があることを実感する」「自分がどうなりたいか、そのためにはどのような道筋をたどるべきなのかを考える」「将来像を実現するために、自分が今何をすべきかを考える」など

家庭クラブ 「積極的な地域交流ができる全体テーマ」
「レクリエーションスキルを身に付けよう」
県高校家庭クラブ連盟主催の標記講座が大田市のアステラスで開催され、県内31校の代表生徒約百名が参加。本校からも1年の岡田梨沙さんと平井綾香さんが出席した。
午前の総会・全体研修等に続いて、午後は三つの分科会に分かれ、それぞれのテーマ

指導者養成講座 (8/12、大田市)
「分科会テーマ」
A班：高齢者と一緒に楽しむレクリエーション
B班：幼児と一緒に「作って」遊べるレクリエーション
C班：幼児と一緒に「動いて」遊べるレクリエーション



(8/2、出雲市民会館)

これで、3年生を含めたメンバーでのステージは8月28日(金)の学園祭1日目の演奏を残すのみとなりました。場所はアスパルです。皆様、ぜひお越しください!
(吹奏楽より)

8月2日(日)に行われた全日本吹奏楽コンクール島根県大会の高校Aの部に出場し、銀賞を受賞しました。保護者の皆様、地域の皆様

吹奏楽

全日本吹奏楽コンクール県大会

にはたくさんの方の応援をいただきましたこと、心よりお礼申し上げます。
当日、会場にもたくさん来ていただき、部員一同励みになりました。また、打楽器搬入のスタッフとしてたくさん卒業生にも駆けつけていただき、おかげさまで、スムーズに演奏することができ、とても助かりました。たくさんの方々に支えられているのだと実感しました。



<2回戦> 7/20、松江市営野球場

TEAM	1	2	3	4	5	6	7	8	9	計
出雲商業	0	0	2	0	0	1	2	0	0	5
三刀屋	0	0	0	0	0	2	0	0	0	2

野球

第97回全国高等学校野球選手権島根大会

(7/20、松江市営野球場)

反撃一歩およばず

三刀屋は2回戦で出雲商業と対戦し、6回裏の攻撃で一点差に詰め寄ったが、反撃も一歩およばず、直後に2点を献上して初戦で涙をのんだ。

パソコン同好会

島根大学に行ってきました
今春に活動を再開したパソコン同好会のメンバー3人(1年)が、島根大学が主催する全4回の講座に参加した。



デジタルフアブリケーション入門講座(全4回)

7月18日と25日の講座では3Dプリンタを使って「ランプシェード」を作成し、3回目となった8月1日には、島根県が世界に発信するプログラム言語「ルビー」にも挑戦。ワンタッチコンピュータ has berry Pi 上で動く smartin でフルカラーLEDを制御した。LEDは赤緑青の三色の明るさを、それぞれ256段階で調節することができ、

陸上

(7/12、松江市営陸上競技場)

国体県予選

小豆澤さん決勝8位
(少年女子B百m)

- 少年男子A 山田幹(2年) 8位
- 少年女子B 小豆澤真帆(1年) 8位
- 少年女子A 山田幹(2年) 8位
- 少年女子B 小豆澤真帆(1年) 8位

JRC

ヒロシマから礼状



広島原爆の日前に送った千羽鶴に対して、現地から礼状と写真が届きました。

1学期末(7月)~夏の三高生

お免状(池坊)いただきました

華道

外部講師の安部治美先生のご指導を受けて腕を磨いた華道部員が、晴れて池坊



↑お免状を手にした3年女子4名、2年男子1名

のお免状を手にした。取得したお免状は資格として履歴書に記載することもでき、お免状の取得に応じて、学べる花形(いける手法)も拡がるのとこだ。

第16回高校生国際美術展

主催/世界芸術文化振興協会 後援/文化庁 外務省他

森脇さん(3年)佳作



この立体作品は、美術部の森脇咲子さん(3年)が標記美術展に出品して佳作に入った力作「子供時代」。1学期末に発行した「PTA会報」の表紙も大きく飾った。

美術

テラコッタ講習会

高文連美術・工芸専門部が主催するテラコッタ(彫刻)講習会が8月5日、大社高校で開催され、美術部員1名が参加した。

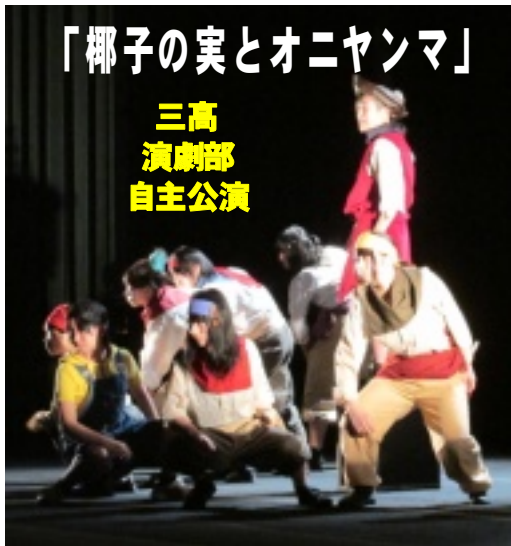
テラコッタとは焼いた土の意。良質の粘土を焼いて作った素焼きの塑像や器。

3年生にとっては最後の公演! お疲れさまでした

▶7月18日(土)・19日(日)

演劇

▶会場 チェリヴァホール



「椰子の実とオニヤンマ」

三高演劇部自主公演

この自主公演は、会場との交渉から企画運営まで、すべてを生徒自身が行いました!

<今後の予定>

出雲地区大会 9/18~19 ラメール
県大会 11/2~3 ラメール

引き続き

劇団ハタチ族365日公演を応援します
(雲南市木次町のチェリヴァホール)

アカデミックインターンシップ(第1回)



学生キャンパスガイドの皆さんにもお世話になりました。

1年次は広島大学訪問

7/15

入学後のアカデミックインターンシップ(大学訪問)の第1回として、1年生全員が1学期末に広島大学を訪問した。ある生徒は、「大学に進学するという選択肢を持たな

かった自分も、もう一度進路について考えてみようという



救命救急法講習(1学期末)

いざという時に備えて 毎年1、2年生が受講します

1学期末に今年も1、2年生の全クラスが2時間ずつ、雲南消防署の皆さんから心肺蘇生法、自動体外式除細動器(AED)の使用方法、骨折や熱中症の対応などについて説明を受けた後、実地訓練をして重要ポイントを頭と体で覚えた。

教職員も毎年、同様な講習会を受講している。常識と考えられていた方法に少しずつ変化もあり、毎年受講することが大切と感じさせられる講習会である。ところで皆さんは、自分の居住地周辺のどこにAEDが設置してあるかご存じだろうか?



JRC

青少年赤十字リーダーシップ・トレーニングセンター

(8/6、8、出雲市)

防災学習の場面。この後、災害時に持ち出す物品のリストを班別で作成しました

標記の宿泊研修が出雲市小境町のサン・レイクで開かれ、本校からも2年生部員二人が参加した。この研修は、「生徒会活動や部活動、学校や学級、地域でのリーダーに必要な知識や技術を身につけるため、諸活動の充実を図るため」に毎年開催されており、今年も小中学生を含め約90名が参加した。



胸骨圧迫を続けながら、もう一人がAEDの電極パッドを装着。



三高新时代への胎動

地域でつなぐキャリア教育モデル事業実践校

シリーズ 地域とともに

第14回 夏の地域貢献

(ほんの一部を紹介します)



錦織良成監督映画『たたら侍』を勝手に応援するシリーズ



↑吾妻山の広島県側の休暇村にある池



里山の天空の水路

↑林道工事で天空の水路となった(飯南町上来島)

斐伊川今昔物語 第13回

「鉄穴流しに利用した水はどこから」

「走り」と呼ぶ水路に流し、数kmの水の流れの中で、重いな土砂を排出しつつ、重い砂鉄を沈殿採取した。水源としては水路の上流にため池(堤)もしばしばみられる。▼雲南市吉田町の菅谷から、高殿(野だたら)に対する永代たたら施設(野だたら)の近くには、水路と最終選鉱場が保存状態も良く残されているが、その山の上にはかつて複数の池があったという。高殿を含む国の重要有形民俗文化財「菅谷たたら」

花崗岩の山肌を崩して砂鉄を採取する鉄穴流しには水が不可欠だ。崩した土砂を「走り」と呼ぶ水路に流し、数kmの水の流れの中で、重いな土砂を排出しつつ、重い砂鉄を沈殿採取した。水源としては水路の上流にため池(堤)もしばしばみられる。▼雲南市吉田町の菅谷から、高殿(野だたら)に対する永代たたら施設(野だたら)の近くには、水路と最終選鉱場が保存状態も良く残されているが、その山の上にはかつて複数の池があったという。高殿を含む国の重要有形民俗文化財「菅谷たたら」

「このバスは吉田大東線、かもてらす発、JA吉田前行きです。」

雲南市の依頼を受け、放送部員が市民バスの車内アナウンスを録音した。今回担当したのは、広域路線の吉田大東線で、停留所の数も80箇所を超える。雲南市役所地域振興課の松井英樹さんの指示を受けながら、新部長の高見ひのめさ

雲南市の依頼を受け、放送部員が市民バスの車内アナウンスを録音した。今回担当したのは、広域路線の吉田大東線で、停留所の数も80箇所を超える。雲南市役所地域振興課の松井英樹さんの指示を受けながら、新部長の高見ひのめさ

雲南市の依頼を受け、放送部員が市民バスの車内アナウンスを録音した。今回担当したのは、広域路線の吉田大東線で、停留所の数も80箇所を超える。雲南市役所地域振興課の松井英樹さんの指示を受けながら、新部長の高見ひのめさ

雲南広域福祉会

1 「ふれあいまつり」 7/26

幅広い世代の交流と障がいへの理解を深めてもらおうと、雲南広域福祉会が主催する「ふれあいまつり」が、今年も三刀屋町古城の多機能型事業所「しゃぼん玉工房」と地域活動支援センター「パレット」の駐車場で開催され、本校生約10名もボランティアとして参加。受付や模擬店などを手伝い、つくね棒を炭火で焼くスタッフからは「助かっています。十分すぎるほどの戦力です」との声を頂いた。

うんなん元気っ子わくわく教室

2 「峯寺で泊まろう！」 8/8~9



雲南市三刀屋町給下の真言宗の古刹峯寺で行われた一泊二日の標記イベントに、小中学生13名が参加。本校生の二人がボランティアスタッフに加わり、一緒に読経・座禅も経験するなど、日頃とは違う生活体験をサポートした。



80箇所を超える停留所ごとの案内アナウンスを録音(8/4、視聴覚教室)



放送

3 雲南市民バス車内アナウンスを吹き込みました

雲南市の依頼を受け、放送部員が市民バスの車内アナウンスを録音した。今回担当したのは、広域路線の吉田大東線で、停留所の数も80箇所を超える。雲南市役所地域振興課の松井英樹さんの指示を受けながら、新部長の高見ひのめさ

雲南市の依頼を受け、放送部員が市民バスの車内アナウンスを録音した。今回担当したのは、広域路線の吉田大東線で、停留所の数も80箇所を超える。雲南市役所地域振興課の松井英樹さんの指示を受けながら、新部長の高見ひのめさ

雲南市の依頼を受け、放送部員が市民バスの車内アナウンスを録音した。今回担当したのは、広域路線の吉田大東線で、停留所の数も80箇所を超える。雲南市役所地域振興課の松井英樹さんの指示を受けながら、新部長の高見ひのめさ

御礼

8/23(日)7:30~9:00

PTA環境美化ボランティア活動

保護者+生徒・教職員=約100名



お疲れ様でした

また、先月は夏祭りの夜間パトロール(木次・三刀屋支部)ありがとうございました。来月は交通安全街頭指導でお世話になります。

日	曜	学校行事等	部活等
27	木	学園祭準備(全日)	
28	金	学園祭/文化祭① アスパル	
29	土	学園祭/文化祭② 学校 PTA模擬店	
30	日	学園祭/体育祭 学校グラウンド	
31	月	8/29の代休日	

8月

日	曜	学校行事等	部活等
1	火	8/30の代休日	
2	水	学園祭片付け(1限)、3年生身だしなみ指導	
3	木		
4	金	就職試験出願開始日	
5	土	3年全統記述・看護医療模試	
6	日		
7	月	後期生徒会役員選挙告示	
8	火	センター試験説明会、防犯教室	
9	水	6限授業	
10	木	人権・同和教育SHR SC来校	
11	金		野球 卓球
12	土	3年桐原小論模試	野球・卓球・ソフトボール
13	日		野球・卓球・ソフトボール
14	月	交通安全街頭指導(~9/18)	
15	火	後期生徒会立会演説会・選挙身だしなみ指導(1、2年)	吹奏楽
16	水	就職試験開始日	
17	木	医療福祉系進路説明会	
18	金	試験発表	演劇
19	土	学校開放 3年看護医療模試 3年進研・駿台M模試	演劇 陸上 野球 ソフトテニス
20	日	学校開放 3年進研・駿台M模試	陸上 野球 ソフトテニス
21	月	敬老の日	閉寮 陸上
22	火	国民の休日	
23	水	秋分の日 学校開放	閉寮
24	木		
25	金	2年保護者進路ガイダンス	
26	土	出校日(月の授業)	野球
27	日		野球
28	月	中間試験1日目	
29	火	中間試験2日目	
30	水	9/26の代休日	

9月

創立90周年記念事業(雲南会)

「学校まるごと美術館」

▼寄贈作品「夏の昼下がり」

渡部 俊美氏 (高校31期、昭和54年3月卒)



鳥籠が並ぶ京都の店頭を描いた作品/教室棟階段の踊り場壁面に設置

新たに日本画二百号の大作をご寄贈いただきました

<参考にお読みください>

『三高90年物語』第3回「学校は文化遺産の宝庫」
本紙第86号：平成26年7月発行より

旧制中学以来の90年の歴史を刻む三高には、現役生徒が知らない数々の文化遺産が眠っている。壁面に掲げられた写真を見ただけでも歴史の重みを感じる。着襟礼衣即首巾や井上輝兵が来校した際の写真も興味深い。蓋雲館の内部は改修されて綺麗な空間となっているが、建物自体が本校にとっては貴重なお宝。昭和40年代の全面改築で唯一残った木造旧校舎で、元は図書館だった。

蓋雲館に眠るものだけが文化遺産ではない。校舎・敷地のいたる所で、無声らしい美術品の数々を目にできる。校舎内外はオーブンミュージアムだ。有名な方々の手になる作品だけでなく、在学中の生徒作品や先輩諸氏からの寄贈品も多いが、今回は書に限っていくつか紹介させていた。

◇◇◇◇◇

現在は校長室に掲げられ「不動」は三中・三高の伝統を感じさせる力強い筆致。昭和7年に熊本県から赴任した隈部信雄第3代校長の揮毫である。このほか倉庫室や応接室には、前号で紹介した田部長右衛門氏の揮毫による書も多いが、職員室前の廊下で目を引くのが講道館柔道創設者の高約治五郎(号雅一)の「精力善用」だ。「何をやるにしても、その目的を達するに最も有効に働かなくてはならない」という意味らしい。三高柔道を育て上げた中田喜巳氏(昭和11年卒)が本校に寄贈されてからちょうど20年となる。

これとは対照的な流麗な筆致の作品が横に重なる。平成6年春に卒業した成野加奈さんの「和歌三首」だ。在学中に指導していただいた書道の藤原清一郎先生から、学校に何かを残したいと言われたので寄贈したとのことだ。

藤原清一郎先生(書道家)は布勢小学校校長を最後に退職後、昭和46年4月から20年以上にわたって書道講師としてご勤務いただいたが、平成7年1学期末に逝去された。成野さんの作品と同じく平成6年に寄贈していただいた「福以德招」が今も図書館に掲げられている。

多数の参加、ありがとうございました



7/31 オープンキャンパス
※当日配布した「学校案内」を新たにご希望の方はご連絡ください。↓代表(0854)452721

在校生の皆さんも、案内役お疲れ様でした!



学園祭日程
8/28(金)
29(土)
30(日)



- 8/28(金) 文化祭1日目 アスバル
8:50 開会式
9:10 放送部発表
9:20 箏曲部発表
9:55 1年生ステージ発表
11:15 演劇部発表
(11:45~12:30は昼休み)
12:30 2年展示とパビリオンのPR
12:50 ダンス同好会発表
13:10 ゲスト「TEAM 輪音天咲」
14:00 吹奏楽部発表
15:00 終了、終礼

※開始時刻のみ表記。実際には途中に休憩時間が入ります。

- 8/29(土) 文化祭2日目 三刀屋高校
9:00 展示・催しもの
・各文化部
・2年クラス催し物(教室)
・パビリオン(昇降口前)
・ロックコンサート(体育館)
※保護者模擬店(昇降口前)
14:00 終了・文化祭片付け
15:00 終礼、体育祭準備

- 8/30(日) 体育祭 三刀屋高校
8:50 開会式
9:10 午前の部競技スタート
11:40 昼食休憩
12:35 写真撮影
13:00 応援合戦スタート
14:00 休憩
14:30 午後の部競技スタート
15:30 閉会式
15:50 片付け
16:40 終礼

さんこう
三高91年物語

第15回 初の修学旅行(昭和2年)と
昭和初期の世相



第1回修学旅行(太宰府天満宮太鼓橋で)



若槻礼次郎氏の三刀屋中学来校(1930.10.5)
半年後に第二次内閣を組閣するも、満州事変の勃発で再び短命内閣に終わる。

終戦から70年、激動の昭和史を振り返ることが多い今年だが、昭和元年は年末

の1週間しかなかった。大正15年(1926年)12月25日、大正天皇崩御により摂政裕仁親王が踐祚。改元され激動の昭和時代を迎えることとなった▼翌昭和2年(1927年)4月、三刀屋中学4年生(一期生)が本校初の修学旅行団として九州へと出発した。第一期世界大戦中に開業した民

営線上海道の木次駅を21日に出発し、太宰府・熊本・鹿児島・別府等を巡る8日間の旅だった。三刀屋中学に限らず、戦前の修学旅行は意外と豪華だった▼修学旅行を終えた直後の4月20日、若槻礼次郎内閣が総辞職に追い込まれた。初の島根県出身宰相として県民の期待も大きかったが、3月

からの金融恐慌の打開策を打ち出せない中で退陣だった▼恵まれた旅程と言える修学旅行ではあったが、第一次世界大戦後の1920年代は戦後恐慌、開校前年の関東大震災による震災恐慌、そしてこの金融恐慌と打ち続く恐慌が国民生活に深刻な影響を与え、さらには世界恐慌下の1930年



昭和恐慌による農村困窮は、生徒募集難ともなって早くも学校存続の危機に。

は「金解禁」を大きな引き金として未曾有の恐慌となった。いわゆる昭和恐慌である。農村部は「娘の身売り」されるように困窮を極め、生徒募集が困難となった三刀屋中学を甲種の三刀屋農林学校に改編しようとする県の計画が浮上すると、上の新聞記事のとおり、現状維持を求める運動が繰り広げられた▼金輸出再禁止や低金利・低為替政策、1931年の満州事変勃発等を背景に恐慌を脱出すると、改編計画は下火となったが、学校教育は一層国家主義的統制が強まることとなり、修学旅行は昭和15年が最後となった(同年の修学旅行廃止の政府通達を受け、4年生は隠岐旅行を実施)。

編集後記

今号は編集スケジュールの都合で、8月下旬の雲南市内自治会回覧間に合いませんでした。この98号が回覧によって一般市民の皆様目にとまるのは、9月末以降のことと思います。年間を通じて、何回か同じような状況がありますことをご了承ください。

(編集長記)

ダブルトップページ
ダブルトップページ



見えますか??見えていますか???
あなたとつながる社会のこと
三刀屋高校総合学科の2学期、三高生は
つながる世界で自分の考えと進路・将来をみつめます

総合学科での学びが、視野を拓けてくれます!



国民的議論

マイナンバー制度

ウクライナ問題

原発再稼働

エンブレム

東京オリンピック・パラリンピック

TPP交渉

年金

戦後70年首相談話

再生エネルギー

消費増税

安全保障

パレスチナ イスラム国

国民一人当たり800万円の借金

オスプレイ

道路交通法改正

テロ

いじめ

シビリアン・コントロール

震災復興

辺野古移設

株価

台区 異常気象

元安 少子高齢化

新国立競技場

積極的平和主義

法的安定性

竹島 限界集落

晋天間基地

公職選挙法改正

社会を知り、自ら判断して一票を投じる18歳は目前です

つながろう三高
つながろう雲南

如己愛人

反映されにくい若者の声
18歳からの一票へ

5月17日の大阪府での住民投票は、橋下徹大阪市長が提唱してきた大阪府構想を否決する結果となった。大阪府民自らの判断だが、直後のインターネット上では、それまで都構想に関心を持たなかった人々も巻き込む議論が沸き起こり、大阪府構想とは別の国民的課題を浮き彫りにする形もなった。住民投票では、20代から60代までの世代では都構想への「賛成」が上回ったが、人口が多い(かつ投票率の高い)70代の「反対」票で否決された形だ。そのような見方をする事自体を問題視する向きもあるが、「少子高齢化」が、若い世代の声を反映しにくい現実を認識させた事も事実だ。▼似たような現実が突き付けられたのが、国政選挙での島根県と鳥取県の「合区」問題だ。民主的選挙のためには「普通選挙・平等選挙・秘密選挙・直接選挙」を原則とするが、このうち「平等選挙」とは一人一票を平等にあつかわることを意味し、それは人口比によって議員定数を決定することにつながる。そのこと自体に異論をはさむ人はいないだろうが、極論すれば、国政は人口の多い地域(都会)に居住する市民によって決定されることとなる。▼若者の声と地方の声の影響力が相対的に低下する現実の中、6月の公職選挙法の改正では18歳以上に参政権を付与することになった。来夏に行われる参議院議員選挙では、現高校3年生が全員、現2年生は18歳になった生徒が投票することとなる。▼選挙法の改正にも賛否はあるが、選挙制度だけでなく、次代を担う若者の声を一層吸い上げるシステムを、社会全体で再考する必要がある。皆さんは少なくないだろう。何はともあれ、権利としての18歳からの一票を責任をもって投じられるよう、今後の周辺環境整備が求められる。(編集長記)



MITOYA

島根三刀屋
県立高校

蒼雲

学校だより
第98号

【発行所】
三刀屋高等学校
〒690-2404
雲南市三刀屋町
三刀屋912-2
TEL: 0854-45-2721
FAX: 0854-45-5630

【印刷所】
有限会社木次印刷
〒699-1312
雲南市木次町山方
630-5
TEL: 0854-42-8133
FAX: 0854-42-8155